

ごみ減量だより

発行：稲城市廃棄物減量等推進員連絡協議会

No. 2010-1

「ごみについて考えてみませんか？」

私たち「稲城市廃棄物減量等推進員連絡協議会」から、ごみ減

量について、一人ひとりが考える一つのきっかけにしてほしいと

いう思いを込めて、これから定期的にこの「ごみ減量だより」を発

行していきます。

今後は、ごみ分別の仕方や身近な活動状況等を回覧や掲示物

等を通じてお知らせしていきますのでよろしく願います！

「くらしフェスタ」でごみ減量啓発活動を実施しました！

11月13日土曜日に若葉台のiプラザ前広場で行なわれた「稲城くらしフェスタ 2010」にて、来場者の方向けに、“擬似生ごみによる水切り体験”や“環境クイズ”等を実施し、ごみ減量や分別の大切さを呼びかける啓発活動を実施しました！

実際に、水切り体験をされた来場者の方からは、「たったひとしほりするだけで、半分もごみの重量が減るとは思わなかった。これからは毎日やります。」と言っていたことができました！

《水切り体験者 111名・環境クイズ回答者 35名》



※写真は、当日の啓発活動の様子です。

生ごみギュッとひとしほり！

「1サイズ小さなごみ袋でごみ出しが

できれば、ごみ袋代の節約になります！」

▼水切りの効果

- (1) ごみの量が減らせます。
- (2) 二酸化炭素の発生も減らせます。
- (3) 生ごみのイヤな臭いも減らせます。



ペットボトルはつぶして出そう！

ペットボトルは

中を洗って、

ふたをはずして、

ラベルを取り、

最後につぶして、

資源物回収ステーションへ

出すようにしましょう！



資源回収団体の登録してみませんか？

市の資源回収の日とは別に、地域団体が古紙や缶などの資源物を集団回収しています。現在、自治会、子供会、PTAなど59団体が登録しています。

市からは活動団体に対し、回収量に応じて補助金が交付されます。

活動収益は地域に還元されますので、ぜひご利用ください。

対象 《市内の20世帯以上の地域団体》

対象品目・補助額

《新聞紙、雑誌、ダンボール、牛乳パック、古布、びん、スチール缶はキロ9円、アルミ缶、食用廃油はキロ6円》

申請方法

《資源ごみ集団回収事業実施団体登録申請書の提出》

※ 申請書は稲城市ホームページよりダウンロードできます。



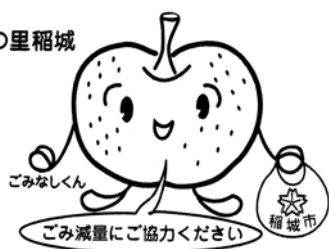
<お買い物にはマイバッグを！>



<詰め替え製品を利用しよう！>



なしの里稲城



スプレー缶・100円ライターは必ず月一回の有害物へ！

今年度、燃えないごみの回収時に収集車に積んだごみの発火が原因と見られる車両火災が2件起きています。

分別が不十分ですと、重大な事故になる恐れもありますし、大変危険です。また、収集業務にも支障をきたす恐れもあります。

ごみは必ず分別し、ガスが残っている、残らないにかかわらずスプレー缶や100円ライター等は、必ず「ごみ・リサイクルカレンダー」に記載された月一回の有害物の日にお出しいただきますようお願いいたします。

(※実際の車両火災現場の様子)



(※火災の原因になったと思われるスプレー缶)



問い合わせ先:環境課ごみリサイクル係 042-378-2111